

12月
議会定例会

藤里町義務教育学校 工事進捗率15.55%

一等米比率は96.1%を確保

令和2年12月議会定例会が12月8日から11日までの4日間にわたり開催され、一般会計補正予算など上程された10案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇粕毛地区での火災

12月2日に発生しました火災について、1人の方がお亡くなりになられていることに対し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

藤里町の無火災は、この度の火災により、前日までの1,009日で一旦途絶えてしまうこととなりますが、今後より一層の防火意識の高揚と、消防団の見回

り強化等により、新たに無火災日数を積み上げて参りたいと思えます。

◇農林業関係について

令和2年産米の集荷状況についてですが、JAあきた白神藤里営農センターの11月24日現在における集荷実績によりますと、30kg単位での予約数量、67,258個に対し、集荷数量は、68,215個(集荷率101.4%)となつています。

今年、記録的な少雪により春先の水不足が懸念されましたが、農家の節水努力と、関係機関による稲作情報の提供や一斉防除作業の適期実施により、収量は平年を上回り、1等米比率も96.1%と昨年引き続き高い水準となりました。

次に、令和3年産米の需要見通しに關しましては、11月5日公表されました国の基本方針の中では、主食用米の生産量

が69.3万tとされ、令和2年産米の生産量72.3万tと比較し30万tの大幅な減と推計されています。

そのことを受けて、秋田県では、全国生産量における県産米のシェア率や、適正在庫量、直近の販売状況を踏まえ、「県全体の生産の目安」を、前年比1万5千t減の39万tと決定しています。

町の生産数量につきましては、町で算定作業を進め、結果を町農業再生協議会に提示することとしています。その後は、方針作成者であるJAの米販売予定数量と調整しながら、協議会臨時総会の決定を経て、1月頃に「町の生産の目安」として公表する予定です。

一方、畑作物等の生産状況については、10月末現在、ネギの生産量は目標の3.14t、1,216千円に対して、4.27t、1,590千円となり、青果物全体につきましても、目標の5.24t、2,518千円に対し、6.49t、2,620千円と増加しています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内需要が冷え込む中で、目標を上回る実績となりましたことについて、農家の皆様の努力に対し、敬意を表します。

取り組み開始から11年目となりましたりんどうにつきましては、苗の更新が随時進められており、本年度から本格的な収穫となる矢先の新型コロナウイルス感染症の拡大となつてしまいました。特に、最需期でありますお盆時期には、帰省して墓参りをするといったことが抑制されたことから、市場単価が大きく落ち込みました。

これに対しましては「新型コロナウイルス感染症対策りんどう農家維持助成金事業」により、経営継続支援を行ったところでした。

採花面積が306.6aで昨年より34.4a減少しており、採花本数は50万1,178本と3千本程度の減少にとどまっています。売上額については、お彼岸以降に市場単価が持ち直したことから、481千円減の22,624千円、平均単価は45.1円となっています。

苗の更新により品質も改善していることから、アフターコロナの需要を的確に捉えるよう、今後も計画的な苗更新を支援していきたいと考えています。

畜産に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客によるインバウンド需要が著しく低迷したことから、肉用牛の市場価格が暴落し、畜産農家の経営に影響が出ています。現在は幾分持ち直しの傾向にありますが、これについても「新型コロナウイルス感染症対策畜産農家維持助成金事業」により、経営継続支援を行ったところです。

昨年まで、ホテルゆとりあ藤里で開催